

バス停からの 小さな旅



09 バス停「田畑公民館(ほたる線)」から 山之上「学校道」と道祖神を歩く



今回乗車したバス

行き…ほたる線

Bコース4便

帰り…フルーツ線

Bコース5便

10時59分 美濃太田駅北口

11時17分 田畑公民館

下車後、学校道を歩きながら、道祖神などを見る

14時54分 西洞公民館

15時07分 美濃太田駅北口



▲田畑地区から西洞地区へとつながる「学校道」(田畑地区側から撮影)

山之上町の田畑地区から峠を越えて西洞地区につながる道は、かつて「学校道」と呼ばれていました。山之上北部から中央部の中之番地区の通学用に整備されたため、この名が付いたと言われています。時代の流れによりこの道はほとんど使われることはありませんが、現在でも徒歩で通行することができます。

『山之上小学校百年誌』所収の大正5(1916)年の古地図には、はっきりとこの道が記されています。

また、峠あたりの道の脇には、小さな道祖神じんを見ることが出来ます。道祖神とは村々の境や峠、つじなどに祭られる神で、悪霊や災いを防ぎ、通行の安全を願って道端に建てられた民間信仰の石仏のことです。

この道祖神は高さ50センチほどの素朴なもので、自然石に「道祖神」の文字が深く刻み込まれています。市内には、このほか三和町に2基の道祖神が残っています。

【参考】

みのかも文化の森ホームページ

「美濃加茂事典」「学校道」「道祖神」の項



▲道の脇にみられる道祖神